

JFE環境 焼却施設のAI化に着手

当社は、産業廃棄物(以下;産廃)焼却施設の運転制御に適したAIシステムの開発に着手致しました。

産廃焼却炉は多岐に渡る廃棄物を取り扱うことから、燃烧状態、排ガス組成の変動が激しく既存の制御システムによる自動運転範囲は限られ、手動運転による介入頻度が高いことが課題です。近年急速に進歩しているAIシステムを適用することで、自動運転可能範囲の大幅な拡大による運転員の業務負荷低減と、より安定した操業の実現でさらなる環境負荷の低減をはかります。

開発ツールとして、実績に定評があるJFEエンジニアリングのAIエンジン(WinmuSe[®])を採用、開発の要であるAIによる運転条件最適化には、電気通信大学及びJFEエンジニアリングとの3者共同研究で取り組みます。

2018年度中のプロトタイプ試作完了、2019年度中に当社の最新鋭焼却施設である横浜エコクリーンへの実機化を目指しています。

